⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ **電源を切る**

❷ **電源プラグをコンセントから抜く**

❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

⚠警告 下記の注意を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

火災 感電

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止

電源コードやスピーカーコードを傷つけない

電源コードやスピーカーコードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードやスピーカーコードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードやスピーカーコードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

禁止

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

指示

交流100V

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、スピーカーが落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。また、壁に取り付けた台の上などに置くとスピーカーが落ちてけがの原因となることがあります。

サテライトスピーカーを壁にかけて使うときは

落下による大けがや破損の原因になるため、次の事項を必ずお守りください。
- 取り付け時には、壁面に適したネジを2本ずつ使用し、十分な強度のある壁面に取り付ける。
  垂直で平坦な壁の補強材の入っている部分に取り付けてください。壁に強度やネジについてご不明な点は、ネジの販売店や工事店にご相談ください。
- 傾けて取り付けない。
- 高い位置に取り付けない。
- サテライトスピーカーによりかからない。ぶらさがらない。
- サテライトスピーカーに荷重をかけない。
- 壁に取り付けた状態でコード類を引っ張らない。
- コード類に手や足をひっかけないよう注意する。
- 掃除やお手入れの際、サテライトスピーカーに手を置いたり、力をかけない。

指示

⚠注意 下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

移動させるとき、旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
旅行などで長期間ご使用にならないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

コードの配線に注意する

スピーカーの配置場所によっては、床にはわせた電源コードや入力コードに足を引っかけ、つまずいたりスピーカーを倒したりしてけがの原因となることがあります。歩行のじゃまにならぬよう電源コードや入力コードの配線には注意してください。

大型スピーカーや重いスピーカーを1人で運ばない

大型スピーカーや重いスピーカーを、開梱や持ち運びするときは、必ず2人以上で行ってください。1人で行うと、腰を痛めたり指をはさんだりして、けがの原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く

スピーカーが転倒し、けがの原因となることがあります。

スピーカーを踏み台がわりにしない

スピーカーの上に乗ると、スピーカーが倒れたり壊れたりしてけがの原因となることがあります。スピーカーの上には絶対に乗らないでください。

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 密閉された所。
- 直射日光が当たる所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。
  （チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。）

使用中の本体の温度上昇について

使用中、本体の温度がかなり上昇しますが、故障ではありません。
特に、大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側板、底板はかなり熱くなります。このようなときは、キャビネットに触れないようにしてください。火傷などのけがの原因になります。
また、密閉した場所に置いて使用しないでください。温度上昇を防ぐため、風通しの良い所でお使いください。

ウーファーの破損を防ぐために

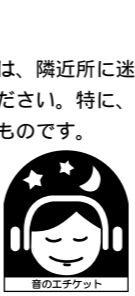
- 大きな音を出しすぎると、音質を損ねたり、スピーカーを破損する恐れがありますので、音量にご注意ください。
- スピーカーユニット、エンクロージャーは分解したり改造したりしないでください。
- フロントグリルははずれません。無理にはずさないようにしてください。

サブウーファーやプログラムソースの電源スイッチを切り換えるときは

サブウーファーの音量を最小にしてください。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

音のエチケット

テレビの色むらについて

本機のスピーカーは防磁型（JEITA*）のため、テレビのそばで使うことができますが、テレビの種類により色むらが起こる場合があります。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。**それでも色むらが残る場合は、**スピーカーをさらにテレビからはなしてください。また、スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。（磁気を発生するもの：ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康機具、玩具などに使われている磁石など）
＊電子情報技術産業協会の略称です。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

故障かな?と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

サブウーファーの電源が自動的にスタンバイ状態になった。

➡ 無音状態が約3分続き、オートパワーオン／オフ機能が働いた。

スピーカーから音が出ない。

➡ 正しく接続されていない。
➡ 正しいコード類で接続されていない。
➡ ボリュームが最小になっている。
➡ ヘッドホンがつながっている。

スピーカーから雑音が聞こえる。

➡ 正しく接続されていない。
➡ オーディオ機器などがテレビなどノイズを出す機器の近くに設置されている。
➡ プラグや端子が汚れている。

突然音が聞こえなくなる。

➡ 正しく接続されていない。
➡ むき出しになったスピーカーコードがショートしている。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、アクティブスピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
- 型名：SA-F21
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

3-071-506-**01** (2)

SONY

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

お買上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SA-F21

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル…………0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
● Fax……………………0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

http://www.sony.co.jp/

接続と準備

手順1: 付属品を確認する

次の付属品がそろっているかを確認してください。

- 音声コード（プラグの色：赤・白）(1)
- スピーカーコード（2.5 m）(2)
- スピーカースタンド (2)
- スタンドネジ (8)
- スタンドネジ用ワッシャー (8)
- ソニーご相談窓口のご案内 (1)
- 保証書 (1)

もし付属品が足りないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

手順2: 接続する（A図）

接続する前に、必ず各機器の電源を切り、電源コードを抜いてください。
詳しくは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

DVP-F21（CD/DVDプレーヤー）とつなぐ場合

1 CD/DVDプレーヤーとテレビをつなぐ。
映像コード（別売り）を使います。CD/DVDプレーヤーのジャックカバーを取り外し、VIDEO OUT端子をテレビの映像入力端子とつなぎます。
映像コード（別売り）の代わりにDVP-F21に付属の映像音声コード（プラグの色：赤・白・黄）の黄色のプラグを使ってつなぐこともできます。
– S映像入力端子付きテレビとつなぐとき
S映像コード（別売り）を使ってつなぎます。より高画質な画像を楽しめます。
– D1映像の信号に対応した入力端子を持つテレビにつなぐとき
D端子ケーブル（別売り）を使ってつなぎます。より高画質な画像を楽しめます。

2 CD/DVDプレーヤーとサブウーファーをつなぐ。
付属の音声コード（プラグの色：赤・白）を使います。音声コードの、赤プラグは赤端子へ、白プラグは白端子へつなぎます。

3 サブウーファーとサテライトスピーカー（L、R）をつなぐ。
付属のスピーカーコードを使います。スピーカーコードは、コードに白い線が入っている方を⊖側につなぎます。

スピーカーを接続した後で、CD/DVDプレーヤーのジャックカバーを取り付けます。
CD/DVDプレーヤーは、横置き、縦置き、壁かけの3種類の設置方法が選べます。
詳しくは、CD/DVDプレーヤーの取扱説明書「手順3：ジャックカバーを取り付ける」（32ページ）をご覧ください。

ご注意
- 映像コードや音声コードのプラグは、根元までしっかり差し込んでください。（A-1図）
- スピーカーコードはスピーカー端子の極性に合わせて＋は＋どうし、－は－どうしでつなぎます。極性を間違えると、音が歪んだり低音不足に聞こえます。（A-2図）

他の機器とつなぐ場合

DVP-F21の場合と同様につなぎます。手順2では、プレーヤーの音声（左／右）出力端子（またはフロント左／右端子）とサブウーファーのINPUT L/R端子をつなぎます。

手順3: スピーカーを設置する

付属のスピーカースタンドを使うと、簡単に希望の場所にスピーカーを設置できます。（B図）
別売りのスピーカースタンド（WS-FV10A、WS-TV10A、WS-WV10A）を使っても設置できます。

市販のネジを使って、サテライトスピーカーを壁に取り付けることもできます。（C図）

ご注意
- 壁の材質や強度に合わせたネジを使用してください。
- 垂直で平坦な壁の補強材の入っている部分に取り付けてください。強度の弱い壁や、垂直・平坦ではない壁には取り付けないでください。
- 壁の材質やネジについては、ネジの販売店や工事店にご相談ください。
- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故・損傷につきましては、当社は一切責任を負いません。
- 音場効果を生かすため、サテライトスピーカー（L 、R）はテレビやモニターを中心にして左右両側に置いてください。

手順4: 電源コードをつなぐ

各機器の電源コードを電源コンセントにつなぎます。

手順5: 使う前に必要な設定をする

お使いになる前に、必要に応じてCD/DVDプレーヤーなどの設定をします。設定をしないとテレビに画像が映らない場合があります。

DVP-F21をお使いの場合

ワイドモードがない通常のテレビ（4：3画面）につないでいるときは、ワイド画像をどのように表示するかをDVP-F21にあらかじめ設定しておく必要があります。ワイドテレビ、またはワイドモードのある通常のテレビをお使いのときは、この操作は必要ありません。

詳しくは、DVP-F21の取扱説明書「画像に関する設定（画面設定）」の「TVタイプ」（66ページ）をご覧ください。

再生する

再生する（D図）

接続と設定が終わったら再生できます。

1 各機器の準備をする。

テレビの準備
テレビの電源を入れ、つないだ入力（「ビデオ」など）に切り換えます。

CD/DVDプレーヤーの準備
電源を入れます。
（DVP-F21の場合：本体のI/⏻（電源）ボタンを押します。）

2 サブウーファーのI/⏻（電源）ボタンを押す。
サブウーファーの電源が入ります。I/⏻（電源）ボタンが赤（スタンバイ状態）から緑に変わります。

3 サブウーファーのMODEボタンを押して、MASTER VOLランプを緑色に点灯させる。

4 サブウーファーのLEVEL–ボタンを押してボリュームを最小にする。

5 CD/DVDプレーヤーにディスクを入れる。

6 CD/DVDプレーヤーの▷を押す。
再生が始まります。
サブウーファーのLEVEL+/–ボタンで音量を調節します。

ヘッドホンを使うときは

ヘッドホン（別売り）をサブウーファーのHEADPHONES端子につなぎます。
音量を調節するには、サブウーファーのMODEボタンをくり返し押してMASTER VOLランプを点灯させてから、LEVEL +/–ボタンで調節します。

💡 サブウーファーの電源は音声信号の入力に応じて自動的に切り換わります（オートパワーオン／オフ機能）。
無音状態が約3分続くとサブウーファーは自動的にスタンバイ状態になり、I/⏻（電源）ボタンが赤に変わります。再び音声信号が入力されると自動的に電源が入り、ボタンが緑に変わります。
無音状態が約3分続かないとオートパワーオン／オフ機能は働きません。すぐに電源を入/切したいときはI/⏻（電源）ボタンを押してください。

スピーカーの調節について

全体の音量、サブウーファーの音量を選んで調節するには

1 MODEボタンをくり返し押して調節したい音量（MASTER VOL（全体）/SW VOL（サブウーファー））のランプを点灯させる。

2 LEVEL+または–ボタンを押して調節する。

DVP-F21をお使いの場合
リモコンのTV/DVDスイッチをDVD側にしておくと、リモコンの音量ボタンで全体の音量を調節することができます。

💡 ソニー製AVアンプを操作できるリモコンには、本機の音量を調節できるものがあります。

音域を選んでボリューム調節するには

MODEボタンをくり返し押して調節したい音域（BASS（低域）/TREBLE（中高域））のランプを点灯させ、LEVEL+または–ボタンを押してお好みの音になるように調節します。

再生する音源に適した低音の出力にサブウーファーのモードを切り換えるには

サブウーファーのLEVEL+と–ボタンを同時に押すとMOVIE⟷MUSICのようにモードが切り換わります。MODEボタン横のSW VOLランプの色で現在のモードがわかります。

モード	ランプの色	適した音源
MOVIE	緑	主に映画
MUSIC	赤	主に音楽

お買い上げ時はMOVIEになっています。

ボリュームの設定をお買い上げ時状態に戻すには

サブウーファーのLEVEL+と–ボタンを同時に押したまま、サブウーファーのI/⏻（電源）ボタンを押します。

その他

主な仕様

SS-MS21（サテライトスピーカー）

形式	フルレンジ、防磁型スピーカー（JEITA*）
使用スピーカー	8cm、コーン型
エンクロージャー方式	バスレフ式
定格インピーダンス	4Ω
最大入力（JEITA*）	30W
出力音圧レベル	79dB（1W、1m）
実効周波数帯域	150~20,000Hz
最大外形寸法（幅/高さ/奥行き）	約90 × 200 × 64mm（最大突起部含む）
質量	約630g/1個

SA-WMS21（サブウーファー）

システム

形式	アクティブサブウーファー（防磁型）（JEITA*）
使用スピーカー	13cm、コーン型ウーファー、デュアルボイスコイル
エンクロージャー方式	バスレフ式
再生周波数帯域	40～150Hz

出力

サテライトスピーカー	15W × 2
サブウーファー	15W + 15W

入力端子

INPUT	ピンジャック型

出力端子

SPEAKER IMP 4Ω	スピーカー端子
HEADPHONES	ステレオミニジャック

その他

電源	100V、50/60Hz
消費電力	47W
最大外形寸法（幅/高さ/奥行き）	約190 × 266 × 375mm（最大突起部含む）
質量	約7.0kg

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）の規格による測定値です。